

報道関係者各位(企業情報)

2019年1月4日

# ファンケル 島田和幸社長 年頭訓示

## 2030年を起点に考えて

### 「変えてみよう。やってみよう」

株式会社ファンケルの代表取締役社長 CEO 島田和幸は 2019 年 1 月 4 日、年頭にあたりグループ従業員への訓示を行いましたのでご報告いたします。



株式会社ファンケル  
代表取締役 社長執行役員 CEO  
島田 和幸

**次のファンケルに向けて、一步を踏み出す年に。未来を見据え、「NEXT FANCL」を目指す。**

新年明けましておめでとうございます。

第 2 期中期経営計画がスタートした 2018 年は、やり切る「実行力」と「即応力」を追求し、「ALL-FANCL, ONE-FANCL」で総合力の発揮を目指してきました。

2019 年は、次のファンケルに向けた足固め、一步を踏み出す年にします。ファンケルはまだまだ成長できません。**守りに入らず、攻めます。**

業績が好調で、グループに一体感が出てきた今こそチャンスです。**キーワードは「変えてみよう。やってみよう」です。**

当社は昨年、2030 年に目指す姿として「VISION2030 ~世界中を、もっと美しく、ずっと健やかに~」を掲げました。これから従業員の皆さんが何かを考える時に、今の仕事は 2030 年につながっているかを考えてみてください。つながっていない、もしくは、今の価値観は変わると考えるのなら、今こそ「変えてみましょう」。そして、「やってみましょう」。**これからは未来、「NEXT FANCL」を目指します。**

#### 「NEXT FANCL」の実現に向けて。

2019 年「NEXT FANCL」の実現のための志について、従業員の皆さんにお話しします。

**一つ目は「次のファンケルを元気に支えてください」。**そのために大切なことは、一人ひとりのエネルギーであり、「健康管理」です。自分自身の健康維持のため、何か目標を持ってください。

**二つ目は「次のファンケルを支えるために、一人ひとりが経験を積み、能力を養ってください」。**人生 100 年時代となり、今の知識や経験だけで 70 歳まで仕事を続けることは難しい時代です。知識も経験もアップデートし、増やし、磨く必要があります。会社としても、積極的に従業員の成長のために投資します。

**三つ目は「次のファンケルへ踏み出しましょう」。**2030 年のファンケルグループの有り様を各自が考えてみてください。今やっている仕事は 2030 年のファンケルグループに不可欠であるか。もし重要性が下がっていると思ったら、今がチャンスです。「変えてみよう。やってみよう」です。

## **グループの総合力を発揮し、次のステージへ。**

ファンケル化粧品は昨年からブランドの多角化を進めています。特に60代以上のマチュア世代向けの「ビューティブーケ」と、アラサー世代向けの「アンドミライ」を成長させていきます。また、国内外で伸びしろの大きいメイクやヘアケアカテゴリーの育成にも取り組んでいきます。そして、2020年のファンケル創業40周年でのお客様、世の中とのコミュニケーションの準備もしっかりと進めます。

サプリメント事業は、収益性を高める体制が整いました。引き続き、「えんきん」や「カロリミット」、「内脂サポート」に次ぐスター製品の育成を進めます。そして、2019年は、いよいよ個々のお客様に最適な栄養素を提供する「パーソナルサプリメント」の上市を控えています。着実に準備し、サプリメントの新たな領域への一步を踏み出します。

青汁事業は、栄養価が高くバランスに優れたケールを100%使用している当社の優位性をしっかりとPRしていきます。また、発芽米事業はいよいよ攻めに転じて、再成長トレンドに乗せていきます。

販売チャネルについては、通信販売はお客様に継続してご利用いただくための新たなサービスをスタートさせます。直営店舗は、しっかりとお客様に寄り添った製品やサービスを提案できるようになり、業績を牽引してくれました。今年は、ますます磨きをかけるとともに、訪日外国人のお客様に対するおもてなしの進化にもチャレンジします。また、改装や新規出店も積極的に進めていきます。卸販売では専用品の開発を進め、売上の拡大を目指します。

新たな取り組みとなるグループ会社の「ニコスタービューテック」が担うOEM事業については、これまで培ってきた研究や製造技術、販売のノウハウを生かし、単なるOEM事業ではなく総合プロデュース事業として成長させていきます。

さらに、安定的に製品を供給するために生産や物流面での設備投資も行います。千葉工場の隣接地に「マイルドクレンジングオイル」専用の生産工場を新設するほか、サプリメント工場の新設にも着手します。また、2020年の稼働を目指し、西日本エリアに新たな物流センターを新設する準備も着実に進めていきます。

今年も一年、ファンケルグループの総合力を発揮して、共に次のステージに進めるよう頑張ってくださいませ。

### **本件に関するお問合せ先**

株式会社ファンケル 社長室 広報グループ  
TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202